

メートル・ドゥ・タン

MAITRES du TEMPS

チャプター・ワン

プロジェクトは3年前から進められ、最初にロジェ・デュバイが全体のコンセプトを考案。スピーク・マリンがデザインを担当し、クリストフ・クラレ実際の製作にあたった。ワンフッシュクロノグラフを搭載したトゥールビヨン。3時位置にレトログレード式日付表示、9時位置にレトログレード式GMT表示。ケース上部にローラー式のムーンフェイス、ケース下部にローラー式の曜日表示を搭載。限定33本。ケース縦62.6mm×横45.9mm。手巻き。レッドゴールドケース。シースルーバック。アリゲーターストラップ。



動力を90度の角度で2つのローリングバーに伝達する驚異的な手巻きムーブメントは、ケース裏に設けられた8角形のシースルーウィンドウから堪能することができる。558個もの部品で構成された世界最高級の複雑ムーブメントだ。

デュバイ、クラレ&スピーク・マリン 3巨匠の才能が集結

ロジェ・デュバイ、クリストフ・クラレ、ピーター・スピーク・マリン。熱心な時計愛好家ならば、この3人の名前が、いかに時計界のビッグネームであるかが分かるだろう。しかしその共通点は？と聞かれると、疑問符がつくかもしれない。実はこの3人の巨匠がユニットを結成し、夢のようなタイムピースが誕生したのである。

このドリームチームを実現させたのは、

アメリカで時計の輸入代理店を営んできたスティーン・ホルツマン氏。彼は30年に及ぶ時計業界での経験を生かし、このほど新ブランド「メートル・ドゥ・

タン」を立ち上げた。そして、ホルツマン氏の長年の夢だった「複数の一流時計師による時計の製作」をコンセプトに掲げ、その第一弾として前述の3人による合作「チャプター・ワン」を発表したのだ。今後も毎年、複数の時計師によるコラボレーションを企画していく予定だという。「私の役目は傑出した時計師たちを結び付けることです。彼らのそれぞれ異なるスタイルと才能をブレンドすることによって、従来にはない驚異的なタイムピースを創造することができるのです」と、ホルツマン氏は語る。このメートル・ドゥ・タン、まだ未定だが、日本での導入も検討されているという。類稀な才能が集結して実現した夢の競演を、日本で見られることを期待したい。

(写真左)ロジェ・デュバイ氏。複雑時計の巨匠として長年にわたって名を馳せてきた時計界の重鎮でもある。(写真中央)ピーター・スピーク・マリン氏。イギリス生まれの独立時計師。2000年に自身の名を冠したブランドを設立した。(写真右)クリストフ・クラレ氏。トゥールビヨン開発の第一人者。ル・ロケットにある彼の工房には最新鋭の設備が整っている。

